

成績評価報告・講評

科目名(キャンパス・曜・時限)	経済と法	(青山・相模原・木曜 3限)
担当者	宇佐美 洋	
受講者総数	329 名	
成績評価の対象としなかった者 (X評価の者)の人数	54 名 (16 %)	

X評価の者を除く成績評価比率

AA	5 %	A	16 %	B	30 %	C	31 %	XX	18 %
----	-----	---	------	---	------	---	------	----	------

学部所定の成績評価比率と異なる場合にはその理由

予定比率通り。

試験問題/レポートの課題

- 以下につき法制度の具体例を含めて論じて下さい。
 - 「取引費用」と「最安価損害回避者」
 - 「外部不経済」と財産権
 - 「情報の非対称性」と「逆選択」および「モラルハザード」
 - 「不完備契約」とインセンティブ問題
- 授業で記憶に残ったこと、感想を書いて下さい。

出題の意図

- 1.(1)(2)(3)(4)ともに、法と経済学で使われる基本的な経済学概念の理解を
 図い、具体的な法制度への応用を問うものです。
- 2.はテキストにない具体例を多教授等で提示したので、それを出席してどの程度
 覚えているかを確認するものです。

講評

出席しないテキストだけで解答しようとした者には、かなり難しい問題であったようだ。
 概念自体の理解も不十分で、また具体的応用は困難であったことが答案から
 見受けられた。